

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	徳山駅を中心とした持続可能な集約型都市の形成												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和02年度 (1年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	周南市												
計画の目標	レクリエーションおよび交通拠点である「徳山港周辺」、交通結節点および商業の拠点である「徳山駅周辺」、行政拠点である「市役所周辺」、文化拠点である「徳山公園周辺」までの区間を周南市の都心軸として設定し、各拠点の強化と拠点間の連携効果の発揮により、中心市街地の活性化、広域的な拠点機能の向上、都市としての魅力の回復と向上を図る。また、都市機能を中心市街地内で更新していくことで都市機能と拠点性を維持する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	632	A	619	B	0	C	13	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	2.05	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H32末)
1	中心市街地内5拠点の10時から19時までの歩行者等通行量を10,826人(H26)から12,000人(H32)に増加させる。 中心市街地内の歩行者等通行量 中心市街地内の5地点における10時~19時の間の歩行者等の通行量	10826 人	11500 人	12000 人
2	賑わい交流施設内の会議室、市民交流センターの年間利用者数を15,905人(H25)から17,500人(H32)に増加させる。 賑わい交流施設利用者数 賑わい交流施設内の会議室、市民交流センターの年間利用者数	15905 人	16800 人	17500 人
3	市全体の人口に対する中心市街地内の人口割合を3.90%(H26)から4.00%(H32)に増加させる。 中心市街地の人口割合 市全体人口に対する中心市街地の人口割合	4%	4%	4%
4	徳山動物園の年間利用者数を288,320人(H26)から370,000人(H32)に増加させる。 動物園入園者数 動物園の年間利用者数	288320人	320000人	370000人
5	本事業に関連した新規女性就業者数を7人(H29)から60人(H32)に増加させる。 新規女性就業者数 本事業に関連した新規女性就業者数(累計)	7人	7人	60人
6	中心市街地等の新規出店数を116店舗(H29)から185店舗(H32)に増加させる。 新規出店数 中心市街地等の新規出店数(累計)	116 店	116 店	185 店

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	周南市	直接	周南市	-	-	周南市中心拠点再生地区	賑わい交流施設整備等	周南市						519		-	
		最終年度の1年分																		
												小計						519		
都市公園・緑地等事業	A12-002	公園	一般	周南市	直接	周南市	-	-	都市公園事業(徳山公園)	A=8.1ha	周南市						100		-	
		最終年度の1年分																		
												小計						100		
											合計						619			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況											
												R02	R03	R04	R05	R06														
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	周南市	直接	周南市	-	-	まちづくり交通実態調査等事業	交通量調査、将来交通体系予測等	周南市						5	-												
												一体的に実施することにより期待される効果																		
	備考																													
	周南市中心拠点再生地区（A-1）と一体的に実施することで、将来交通量予測による円滑な交通網整備や交通量調査による効果測定を行い、まちづくりに役立てる。																													
	最終年度の1年分																													
	C10-002	都市再生	一般	周南市	直接	周南市	-	-	Zooと周南推進事業	ICTZOO事業、足跡プロジェクト、ストリートファニーチャー等	周南市							0	-											
	中心市街地のまちづくりコンセプトである「しゅうなんパークタウン構想」を実現するために、周南市中心拠点再生地区（A-1）と一体的に整備することで、自然と歩きたくなるまち、居心地の良い																													
最終年度の1年分																														
											小計						5													
都市公園・緑地等事業	C12-003	公園	一般	周南市	直接	周南市	-	-	Zoo夢UP21ソフト事業	教育プログラム（実証実験・社会実験）、ワークショップ等	周南市						0	-												
												都市公園事業（徳山公園）（A-4）と一体的に実施することで、新たな教育プログラムの創出、新たな展示手法の創出及び動物園ボランティアスタッフの育成等により動物園の教育プログラムを強化																		
	最終年度の1年分																													
												小計						0												
都市再生整備計画事業	C10-004	都市再生	一般	周南市	直接	周南市	-	-	コンビナート電力活用事業	電力設備工事（電気設備・管路・ハンドホール及びケーブル敷設）、電力利活用検討業務等	周南市						0	-												
												周南市中心拠点再生地区（A-1）と一体的に実施することで、新たな民間事業創出の大きなインセンティブとなり、中心市街地の賑わい創出、活性化を図るものである。																		
												最終年度の1年分																		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	C10-005	都市再生	一般	周南市	直接	周南市	-	-	都心軸空間デザイン事業	駐車場適正化、低未利用地利 活用検討等	周南市						8	-	
		周南市中心拠点再生地区（A-1）と一体的に実施することで、中心市街地の低未利用地の利用促進などの課題に対応する施策や、今後のまちづくりの可能性を有効に活用する施策を包括的に検討し、 最終年度の1年分																	
												小計						8	
												合計						13	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
周南市事業担当課（総務課、地域づくり推進課、動物園、商工振興課、中心市街地活性化推進課、道路課、都市政策課、公共交通対策課、市街地整備課）	令和3年3月
	公表の方法
	周南市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	交通結節点および商業の拠点である「徳山駅周辺」において徳山駅前賑わい交流施設や、行政拠点である「市役所周辺」において新庁舎（市民交流施設）を整備した結果、「中心市街地内の歩行者等通行量」、「賑わい交流施設利用者数」、「中心市街地の人口割合」、「新規女性就業者数」、「新規出店数」の指標が改善している。 一方で、文化拠点である「徳山公園周辺」において徳山動物園（博物館相当施設）リニューアル事業中であることから、「動物園入園者数」の指標について目標を達成していないが、指標に資する事業の多くが未完のため、効果の発現は今後と考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	平成30年2月にオープンした賑わい交流施設の賑わいを中心市街地全体ひいては市内全域に波及させるため、賑わい交流施設オープンの1年前から、指定管理者と、まちづくり関係機関・企業や既存のイベント実施団体等による会議（平成30年4月～「街と駅との連携会議」）を月に2回程度のペースで行っている。この会議から「徳山あちこちマルシェ」等の新たな民間団体のイベントが誕生している。 これらの活動により、施設の年間来館者数は、当初計画していた年間来館者数120万人を上回り、初年度（平成30年2月から1年間）は年間来館者数200万人を達成。オープン2年目もほとんど来館者は衰えず、令和2年2月9日に来館者数400万人を達成した。
特記事項（今後の方針等）	
徳山駅周辺でのイベント等が増え、賑わい交流施設に年間200万人の来館があるなど、中心市街地の変化が目に見えてわかるようになってきたこともあり、地元地権者による徳山駅前地区第一種市街地再開発事業が本格的に進み始めた。 徳山駅前地区第一種市街地再開発事業は、徳山駅前地区市街地再開発組合が、徳山駅前商店街の一部を大街区化し、業務・オフィス施設、マンション、ホテル、商業施設、駐車場、駐輪場、広場等を整備する事業で、徳山駅前賑わい交流施設とデッキで接続される。 当該施設は令和5年のオープンを目指しており、賑わい交流施設と連携することによって、賑わいの相乗効果が期待される。また、再開発施設をハブとして、周辺商店街への人の流れが見込まれる。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	12000 人	R2年度はコロナ禍により、目標値を達成することができなかった（従前値より上昇）が、徳山駅前賑わい交流施設や徳山駅北口駅前広場の完成によって街が賑わい、H30、R1年度は目標値を超えることができた。
	最終実績値	11681 人	
2	最終目標値	17500 人	R2年度はコロナ禍により、目標値を達成することができなかったが、徳山駅前賑わい交流施設の完成と官民連携したまちづくりの活動等によりイベント等利用者を促進し、H30、R1年度は目標値を大幅に超えることができた。
	最終実績値	14477 人	
3	最終目標値	4%	徳山駅南北駅前広場、賑わい交流施設等の完成による効果で中心市街地内にマンション建設が進んでおり、人口割合が増加した。
	最終実績値	4%	
4	最終目標値	370000人	コロナ禍でのイベント中止、一部施設の閉鎖、繁忙期の臨時休園などにより入園者が減少している。また、指標に資する事業の多くが未完のため、事業効果の発現は今後と考えられる。
	最終実績値	197504人	
5	最終目標値	60人	本市独自の創業支援事業の効果により、推計値であるが達成できるものと考えている。
	最終実績値	68人	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
6	最終 目標値	185 店	達成できない見込みであるが、H30年2月の賑わい交流施設のオープンの効果もあり、毎年新規出店が行われている。
	最終 実績値	161 店	